

**科目名**

国際開発論 II

International Economic Development

**単位数**

2単位

**担当教員**

宇野公子

**標準履修年次**

2～4年。

大学院生聴講可(P11(添付)と TOEIC か TOEFL のスコアを提出)。

**学期・曜日・時限**

夏期集中講義 9月26日、27日、29日、30日

**受講条件・その他**

8月15日までに、P11(添付)、TOEIC か TOEFL のスコアを宇野(uno@tufs.ac.jp)へ添付ファイルで提出。送られた情報は集中講義のみに使用。

**主題と目標**

国際経済協力の実施に際しては現況把握が重要であり、そのための統計情報の所在・読み方や基本的な計数処理について理解する。次に国際的な目標としての MDG (Millennium Development Goals) や PRSP (Poverty Reduction Strategy Papers), 累積債務問題等の基本的概念を学び、経済協力の役割や課題が経済発展の段階に応じて変化することを理解する。最後に経済協力の実施主体ごとの方法論の違いとその理論的背景を学び、国際機関の今日的役割について理解する。本講義では初学者を対象に、国際協力に関わる諸問題を経済学的視点から概説する。

**授業の計画**

初回は、国際経済協力を考える上で必要となる概念を中心に導入を行い、次いで経済援助哲学の変遷、国際経済協力の理論的背景と目標、新たな課題などを解説する。後半に掛けては、環境や貿易など個別のテーマを取り上げて、その分野における国際機関による多国間協力の実施方法と成果、その問題点について検討する。

## 9月26日(金曜日)

- 第1回 国際機関職員になるための準備(P11、語学、Degree)、国際機関エントリー試験
- 第2回 国際協力の基本概念、途上国の定義、国際協力の目標と枠組み
- 第3回 国連システムの概要:国連事務局、地域経済委員会
- 第4回 国連システムの概要:専門機関、OECD、世界銀行

## 9月27日(土曜日)

- 第5回 国際機関による経済協力 国連ミレニアム目標(MDGs)
  - 第6回 国際機関による経済協力 貧困削減戦略文書(PRSP)
  - 第7回 国際機関の実務 プロジェクト案件の形成(1)
  - 第8回 国際機関の実務 プロジェクト案件の形成(2)
- (9月28日には「グループ別プロジェクト」と「中間試験」の準備)

## 9月29日(月曜日)

- 第9回 中間試験
- 第10回 第1班から第4班まで presentation (Introductionドラフト1版)
- 第11回 第1班から第4班まで presentation (Introductionドラフト2版)
- 第12回 第1班から第4班まで presentation (Introductionドラフト3版)

## 9月30日(火曜日)

- 第13回 プロジェクト中間発表 第1班から第4班まで
- 第14回 プロジェクト中間発表 第1班から第4班まで
- 第15回 プロジェクト最終発表 第1班から第4班まで

## 成績の評価

中間試験および最終プロジェクト文書の提出を勘案して評価する。プロジェクト文書は集中講義終了後1週間以内、10月7日までに宇野(uno@tufs.ac.jp)へ添付ファイルで提出。

## 学生へのメッセージ

私の勤務先(東京外国語大学国際経済ゼミ)では国際機関勤務を希望する学生と「ジュネーブ合宿」や「国際機関インターン派遣(6か月)」等を通して活動中です。この集中講義では、国際機関への就職に興味を持つお茶大の学生諸君と熱く討議したいと思います。ジュネーブのILOを皮切りに、ヨーロッパ・北米・アフリカ・中東・東南アジア・オセアニアに跨る国際機関(国連、OECD、世界銀行)の本部および地域事務所での27年間に及ぶ勤務から得た宇野の「知識と経験」を皆さんと分かち合い、国際機関をめぐるさまざまな疑問や問題を解決する糸口を見つけていただきたいと思います。この授業では国際機関が作成した文書を多く読みますので、この機会に早く読む習慣を持っていただきたいと思います。